

【審判上の注意事項】

大会審判委員長

本大会は、2022年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。

1. トスは、両チームのチームキャプテンが立ち合い、試合開始11分前に行う。
2. 公式練習は、各チーム3分間とする。ただし、両チーム合同で行う場合は、6分間とする。
3. 公式練習は、エントリーされたメンバー以外は認められない。
4. 全試合、ワンボールシステムで行うので、ボールデッドになったときは、ボールは速やかに相手チームのサーバーに送る。
5. 監督は、フリーゾーン内ならば一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えてもよい。ただし、サービス許可の吹笛後は、速やかにベンチに着席し、ラリー中は座っておかなければならない。また、記録席に最も近い位置に着席すること。
6. フロアモッピングは、コート内の選手が多なうことを原則とし、試合中、コート内の選手はワイピング用のタオルを身につけ、汗で濡れた場合、コート内の選手が拭くこと。ただし、当該レフェリーの指示によりベンチの交代競技者がモップを使用することがある(選手やベンチスタッフが、モップの要求を当該レフェリーにすることは、遅延行為の対象となることがある)。
7. 監督・コーチ・マネージャーは、所定の記章を左胸部につけてベンチに入ること。また、チームスタッフの服装は統一されたものであること。ただし、Tシャツ・短パン・キュロットでのベンチ入りは認められない(児童がマネージャーの場合は、この限りではない)。
8. 監督及びチームキャプテンは、公式練習前に記録用紙にサインすること。なお、チームキャプテンは、試合終了後も速やかに記録用紙にサインすること。
9. タイムアウトの要求には、必ず公式ハンドシグナルを用いること。また、選手交代については、交代選手がサブスティチューションゾーンに入り、レフェリーの指示に従い、片手をあげ速やかに交代を行うこと。
10. ラリー中の交代選手は、ベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること。
11. テクニカルタイムアウト(1・2セット目11点、3セット目8点)の際は、選手に給水をさせること。
12. 大会期間中の予選リーグ(大会1日目)及び2位・3位トーナメント(大会2日目)のスコアラー・ラインジャッジ・点示員は、割当てられたチームで行う。決勝トーナメント(大会2日目)のスコアラー・ラインジャッジ・点示員は、熊本県内小学生バレーボールチームで行う。